



## 御前崎市消防団の団長に就任

# 山下 芳則 さん



### PROFILE

やました よしのり (早苗町)  
本年4月から御前崎市消防団団長に就任。  
平成28年度には静岡県消防協会長勤続功労章(10年)を受章している。

このまち自分たちが守る

現在、御前崎市消防団には299人が在籍しており、地域防災の要として平常時・緊急時を問わず、多岐にわたって市民の安全のために活動している。

本年、4月から山下芳則さんが新たに団長に就任した。山下団長は平成16年4月に消防団へ入団し、分団長、本部長を歴任。平成28年度からは副団長として団長を支えてきた。山下団長は「私たちが消防団活動において重要視していることは、地域防災の中核的存在として『自分たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛の精神をもつことです。また、市民の皆さまの『安全で安心な暮らし』を支えることです」と話す。

消防団員の活動内容は火災出動だけではない。近年増加傾向にある地震や風水害といった大規模災害への出動、火災予防の啓発活動、地域防災訓練などへの参加など多岐にわたる。これらの活動を安全・円滑に実施するために山下団長が特に力を入れていることは、組織の充実・強化を

図り、消防団をさらに強固な組織にすることだ。

団員のための強固な組織づくり

消防団員は現在、新型コロナウイルスの影響で、訓練などの消防団活動を十分に実施することができていない中、火災や風水害が発生した時に備えて危機管理に取り組んでいる。

山下団長は「私たちはコロナ禍といえど、日々の消防団活動に『新しい生活様式』を取り入れ、短時間かつ少人数での訓練に励んでいます。そのため、地域のために入団してくれた団員が活動しやすく、団員を応援してくれるご家族が安心できる環境づくりに尽力することが責務だと考えています。団員から感染者やけが人を一人も出さないよう、今後も安全管理を徹底していきます」と力を込める。

御前崎市消防団はいま、大規模災害や感染症など、さまざまな問題に立ち向かっている。これからも山下団長が先頭に立ち、『自分たちのまちは自分たちで守る』という精神の下、御前崎市の安心と安全を守る。